

中山地区 公民館だより

NO 621
令和6年10月1日
中山地区公館
TEL 676 - 2553

☆クアオルトイン中山☆



9月8日（日）に上山市主催で「クアオルト・イン・中山」が行われました。天気が心配されましたが、曇り空でウォーキングをするにはいい気候になりました。受付を行って、蔵王テラポイト協会のガイドさんとストレッチをしてから出発しました。吉川館長の説明を聞きながら、糸川町の桜公園から御天守山のコース（中山クアの道）のウォーキングを楽しんでいただけたのではないでしょうか。歩いてきておなかの減ってきたところに、中山小麦クラブの皆さんのがんばる振る舞がありました。こしがあっておいしかったと喜んでいただきました。小麦クラブの皆さんありがとうございました。

☆第2回体育部会、開催☆



9月13日（金）に第2回体育部会が行われ、ソフトバレーボール教室と大会について話し合われました。今年も例年通りソフトバレーボール教室を行い、11月23日の上山市家庭ソフトバレーボール大会に参加予定です。まずは、ソフトバレーボールをやってみたいと思っている方がいらっしゃいましたら、ソフトバレーボール教室へ参加してみてください。

☆体験学習田、稲刈り☆



9月20日（金）に地区の方の協力をいただいて体験学習田の稲刈り（餅米）が行われました。午前中に行う予定でしたが、雨がひどくてできず、小降りになってきた午後から稲刈りが始まりました。田んぼは、雨の影響でかなり水があって機械が動かなくならないか心配しながらの刈り取りになりました。刈り取った稻は雨を含んでかなり重く、運ぶのが大変でした。刈った稻は、小麦クラブさん的小麦畠に運んで、ハセ掛けしました。取れた餅米は、11月の収穫感謝祭で餅つきをして子供たちと食べる予定です。雨の降る中、作業していただきましてありがとうございました。

— 10月の行事予定 —

10月 4日（金）	地区役員会	中山地区公民館
11日（金）	女性講座「料理教室」	中山地区公民館
13日（日）	中山地区ふれあい運動会	中山体育館
18日（金）	山形県社会教育大会（職員不在） 第2回地域部会	中山地区公民館
20日（日）	女性講座「フラワーアレンジメント教室」	中山地区公民館
25日（金）	ふれあい教室「1日研修」（職員不在）	
27日（日）	中山地区防災訓練	中山地区内
31日（木）	「クアの道」出張ウォーキング（職員不在）	

※状況により行事予定が中止又は延期になる場合があります。

「ピンポンを楽しむ会」	毎週火曜日 午前9時30分から
「健幸体操」	毎週火曜日 午後1時30分から
「いきいき・かみかみ百歳体操」	毎週水曜日 午前9時30分から
「クアの道」ウォーキング	毎週木曜日 午前9時00分から

— 11月の行事予定 — (変更になる場合があります)

11月 1日（金）	地区役員会	中山地区公民館
9日（土）	資源回収（子供育成会）	中山地区内
11日（月）	10/13振替休日	
17日（日）	収穫感謝祭	中山地区公民館
22日（金）	ふれあい教室「雪囲い」	中山地区公民館
23日（土）	上山市家庭ソフトバレーボール大会	体育文化センター
28日（木）	クアの道ウォーキング最終日	
29日（金）	第3回体育部会	中山地区公民館



健康メモ

10月号

中山地区の皆さん、朝晩涼しい日が多くなりましたがいかがお過ごしですか？
紅葉が始まったり、お店に秋の味覚が並ぶなど日に日に秋らしくなっていますね。
クアの道に参加する、天気の良い日に散策するなど、秋を満喫しましょう。

10月11日(金)の女性学級で健康チェック(血管年齢測定)を実施します！皆さんも参加しませんか？



高齢者各種予防接種助成のお知らせ

今年度は、下記の方を対象に、「インフルエンザ」と「新型コロナウイルス感染症」に関する予防接種費用を助成いたします。

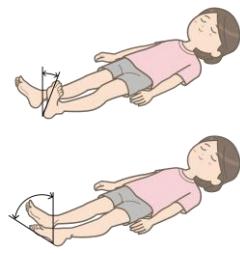
●対象者：上山市に住所があり、次のいずれかに該当する人（年齢は接種日現在）

- ① 65歳以上の人
- ② 60歳から64歳の方で心臓・じん臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスによる障害（身体障がい者手帳1級相当）を有する人

接種費用（自己負担額）など、詳しくは市報をご覧いただくな、上山市役所健康推進課地域保健係（☎023-672-1111 内線157）にお問い合わせください

運動の秋

肌寒い朝は、布団の中で少し体を動かしてからの起床がおススメです。
足首回し・足指じゃんけん…など毎朝実施して習慣化しましょう！



足首体操



足指ジャンケン



からだのばし



かみのやま健康ポイントも毎日元気に活動中です！

上山市健康推進課 保健師 今野



中山の民俗

☆五一〇号☆

中山の漆木

置賜における工芸産物として第一にあげられるのは「漆」であり、その外に青苧、紅花、さらに養蚕のための桑等が考えられるのである。特にこの漆の実からとつた「蠅」は米沢藩第一の収入がある特産物で、その頃の会津とともに全国の漆・蠅、生産の中心であったのである。今は当地での産業が振わなくなつたが、今でも会津塗りの漆器は有名である。

漆が生育する条件として地下水の面が低く而も排水がよく、風当たりが弱く北東向きの谷間がよく土の乾かぬ場所が良いと言われている。この見地からすると置賜方面は一般的に恵まれ、特に中川地区は好条件であったと云う事が出来るのではないか。漆には野生の物と栽培の里漆の二種類があり、また漆の液だけ取る男木とこの液と実を取り蠅(ろう)製品を作る成木(女木)とがあり、これが成木になるまでは七、八年かかり、この一本から漆の実が一石と云われておつたのである。

上杉鷹山公の時代藩財政を打ち立てるため漆・桑・楮の各々百万本を植える計画を立て奨励したのである。その一つの方法として液だけを探る男木の漆は御役木として課税し、液と実をとる女木に力を入れこの木には無税とし、また枯木を無くすため、この木一尺(三十三cm)成長すれば二十文を交付し、男木を切らせ、その後に苗を植えさせたのである。

この様に女木は利用価値

があり高価な所から大切にして、若し勝手に切つた場合は打首を申し付けられる厳重なものであつた。

米沢、長井、小国等に蠅燭製造所を設け、専売方式で江戸に出荷すること幕末まで続き明治に入つてから、ランプ・ガス燈のため振るわなくなつたのである。中川村の漆本数(村目録)より、保科文男著書か

ら引用。
参考文献

保科文男『置賜における中川の歴史的地位とその変遷について』

私版・昭和三九年刊

村別	文禄5年(1595)	明暦元年(1655)	文政10年(1827)				備考
			総数	百万本口	無役木	一戸当	
中山村	有り	428	8377	3239	4710	42	有リ一少々
小岩沢村	-	2074	9574	1697	5806	240	置賜反別
川越村	-	334	8283	3239	4710	98	村目録
新田村	-	-	1468	964	504	45	鷹山公納
合計	-	2836	27708	9139	15730	78	